第52回 河内長野市地域公共交通会議次第

日 時 令和4年1月24日(月)午後3時00分から

場 所 河内長野市役所802会議室

- 1. 開会
- 2. 議題
- (1) 石見川・小深・太井・鳩原地域乗合タクシーの試行運行について
- (2) 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー) に関する事業評価について
- (3) 高齢者公共交通利用促進事業(おでかけチケット) の見直しについて
- 3. 閉会

石見川・小深・太井・鳩原 地域乗合タクシーの試行運行について

形成計画 基本方針① - ③人口減少による公共交通の利用者減少を見据えた、地域に 応じた移動手段確保の検討

> 基本方針3 - ⑩地域の特性とニーズに応じた運行の検討 公共交通空白・不便地域の実情に合った公共交通の検討

- 1. スクールバスを補完するサービスの検討
- 2. 公共交通の利用状況等に関するアンケートの結果
- 3. 試行運行の概要
- 4. 本格運行へのフローチャート

1. スクールバスを補完するサービスの検討

スクールバスの運行状況

スクールバス(地域住民混乗型)は、学校活動に合わせた運行

- ①小中学校の授業がある日:3.5往復
- ②クラブ活動のみの日 : 4.5往復
- ・便数に限りがあり、不安の声が一定ある
- ・特に、現在通勤・通学(高校生)で
 - 利用している人の移動手段がなくなる

(例) ●平日

石見川→河内長野駅前

時	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
(路線バス) 石見川発		29	36	37									37					

(スクールバス 平日※長期休暇を除く) 石見川発	1		35					45	45	25~ 45		
(スクールバス 長期休暇) 石見川発		50		10	30	50	20					

河内長野駅前→石見川

時	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
(路線バス) 石見川行		56					43		37	*50		#2 55		12	39		24	
																		/

(スクールバス 平日※長期休暇を除く) 石見川行								5	5	17:3 18:	30~	1		-<	\ \
(スクールバス 長期休暇) 石見川行		30	50		10	40						1	į		

- ・アンケートによりニーズを把握
- ・試行運行し、事業として 維持できるか検証

2. 公共交通の利用状況等に関するアンケートの結果

代替手段の利用について

回答項目	割合
必要なので利用する	12%
サービス維持のため利用したい	28%
使ってみて良ければ続ける	2 1 %
使った人の評判で利用する	1 1 %
利用するつもりはない	28%

利用する曜日・時間を分析し、 複数人乗り合うダイヤを検討

経費負担について

回答項目	割合
利用者の運賃で賄う	58%
運賃をバス程度に抑え 一部地域全体で負担する	29%
その他	1 4 %

運賃設定について

回答項目	割合
距離に応じて運賃に差をつける	7 1 %
距離に関係なく、運賃は 同額とする	25%
その他	4 %

交通空白地になることから市が経費の一部(1/2)を負担した場合に、

残りを運賃で賄えるような運賃を設定(※ただし、地域(距離)により運賃差をつける)

3. 試行運行の概要

実施期間

令和4年4月~令和4年7月(4ヶ月)

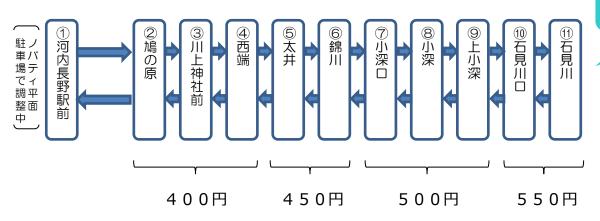
※ 8月以降は、利用状況等を勘案し試行運行の延長や見直しを行い、 令和5年度の本格運行を目指す

運行形態

乗合タクシー(4人乗り)

ルート及び運賃

河内長野駅前 ⇔ 鳩の原~石見川のバス停



②~⑧のバス停については南海バスのバス停を共用

3. 試行運行の概要

ダイヤ

河内長野駅前着:平日 7時頃着

河内長野駅前発:平日 19時台発

複数名の乗車が見込めるダイヤがあれば、 左記の2便以外に増便も検討

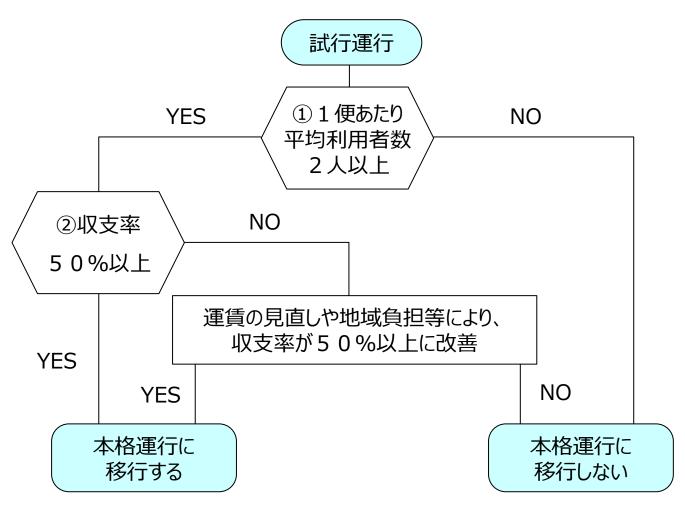
目標設定

試行運行から本格運行に移行できるか(事業として維持継続できるか)を検証

基準項目	指標	数値目標
①利用状況	1 便あたり平均利用者数	2人以上
②収支	収支率(運賃収入等÷運行経費)	5 0 %以上
③地域の主体性	検討会の開催回数 (月平均)	1回以上
4認知度	地域での取り組みの事業認知度	9 0 %以上

※ 試行運行期間中は、運賃で賄いきれない部分は市が負担

4. 本格運行へのフローチャート



- ※本格運行後も、
 - ①②の指標を維持し続ける必要あり

議題(2)

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

A:事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された

B:事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった C:事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった 令和4年1月 日

協議会名:河内長野市地域公共交通会議

A:事業が計画に位置づけられた目標を達成した(する見込み)

B:事業が計画に位置づけられた目標を達成できない点があった(一部達成できない見込み)

C:事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)

					_		
①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況		④事業実施の適切性		⑤目標·効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
南海バス株式会社	日野・滝畑コミュニティバス			事業が計画に位置づけられた		【輸送人員】 目標:従来の水準までの回復 実績:減少(対R2年度比△2.8%、R1年度比	
南海バス株式会社	日野・滝畑コミュニティバス2 (奥河内くろまろの郷経由系 統)		A	とおり、適切に実施された	В	△23.8%) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少	
南海バス株式会社	路線バス小深線2(石見川系統)	新型コロナウイルス感染症の 拡大により利用者が減少した ・交通事業者において、既存の	Α	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	В	【輸送人員】 目標:従来の水準までの回復 実績:対R2年度比微増、対R1年度比減少 (対R2年度比+1.5%、R1年度比△19.9%) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少	令和3年度も年間を通じて、新
南海バス株式会社	路線バス高向線1(高向起終点 系統)	文通事来省において、成行の 交通サービスを確保することを 目的として、バス1日周遊チ ケットおよびタクシー初乗り運 賃チケットを発行した。さらに、 65歳以上の市民が新型コロナ ワクチンの接種時に利用できる		事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	В		型コロナウイルス感染症の影響を受けている。そのため全路線において利用者は令和元年度比で大幅に減少しており、感染症収束後の利用喚起を図る施策を展開する。
南海バス株式会社	路線バス天野山線5(旭ヶ丘系統)	高齢者バス・タクシー共通乗車券を交付し、高齢者の移動支援及び公共交通利用の需要喚起を図った。今後も感染収束後を見据えながら、公共交通の利用促進策や高齢者への対応策	Α	事業が計画に位置づけられた とおり、適切に実施された	В	【輸送人員】 目標:従来の水準までの回復 実績:減少(対R2年度比△9.5%、R1年度比 △28.1%) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少	今後も感染収束後を見据えながら、公共交通の利用促進策 や高齢者への対応策の検討を 進める。
南海バス株式会社	路線バス天野山線4(天野山起 終点系統)	の検討を進める。	Α	事業が計画に位置づけられた とおり、適切に実施された	В	【輸送人員】 目標:従来の水準までの回復 実績:減少(対R2年度比△7.7%、R1年度比 △24.1%) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少	
南海バス株式会社	路線バス天野山線3(サイクルセンター系統)		Α	事業が計画に位置づけられた とおり、適切に実施された	В	【輸送人員】 目標:従来の水準までの回復 実績:減少(対R2年度比△15.4%、R1年度 比△53.6%) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少	

参考資料

協議会名:河内長野市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

				実績			
计在 吹约	目標		輸送人員	 -			(李代)(12)
対象路線	(輸送人員)	R1年度 H.30.10~R2.9	R2年度 R1.10~R2.9	R3年度 R2.10~R3.9	対R1年度比	対R2年度比	達成状況
日野・滝畑コミュニティバス	従来の水準(R2.2) までの輸送人員の回	85,157	66,818	64.915	△ 23.8%	△ 2.8%	外的要因(新型コロナウイルス感染症)
日野・滝畑コミュニティバス2 (奥河内くろまろの郷経由系統)	復	03,137	00,010	04,913	△ 25.0%	△ 2.0%	の影響により評価 が困難
路線バス小深線2(石見川系統)	従来の水準(R2.2) までの輸送人員の回 復	42,095	33,250	33,734	△ 19.9%	+ 1.5%	外的要因(新型コロナウイルス感染症) の影響により評価 が困難
路線バス高向線1(高向起終点系統)	従来の水準(R2.2) までの輸送人員の回 復	75,698	59,933	53,811	△ 28.9%	△ 10.2%	外的要因(新型コロナウイルス感染症) の影響により評価 が困難
路線バス天野山線5(旭ヶ丘系統)	従来の水準(R2.2) までの輸送人員の回 復	172,274	136,956	123,950	△ 28.1%	△ 9.5%	外的要因(新型コロナウイルス感染症) の影響により評価 が困難
路線バス天野山線4(天野山起終点系統)	従来の水準(R2.2) までの輸送人員の回 復	16,513	13,568	12,528	△ 24.1%	△ 7.7%	外的要因(新型コロ ナウイルス感染症) の影響により評価 が困難
路線バス天野山線3(サイクルセンター系統)	従来の水準(R2.2) までの輸送人員の回 復	15,272	8,380	7,093	△ 53.6%	△ 15.4%	外的要因(新型コロナウイルス感染症) の影響により評価 が困難

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年 月 日

協議会名:	河内長野市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィ―ダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	河内長野市は大阪府の南東端に位置し、人口約10万2千人(令和3年9月末時点)、面積は109.63k㎡と府内で3番目に広い。市域の約7割を森林が占め緑豊かな環境である一方、住宅団地が点在するため公共交通は市民生活を支える大切な交通手段である。しかしながら、人口減少や少子高齢化、ライフスタイルの変化などの要因により、路線バスやコミュニティバス等の公共交通利用者が年々減少を続けており、持続可能な公共交通を確保することが極めて厳しい状況にある。そのため、住民、交通事業者、行政などの関係者による協働の取り組みを進め、市内を運行する路線バスやコミュニティバス等の公共交通の維持・充実を図る必要がある。

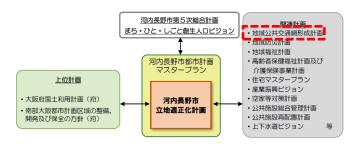
河内長野市地域公共交通会議(ネットワーク全体の評価)

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

「河内長野市立地適正化計画」令和元年度策定

- ○将来都市構造:「集約連携都市(ネットワーク型コンパクトシティ)」
- ・都市機能を集約した、利便性の高い魅力ある拠点の形成
- ・地域の実情に応じた持続可能な公共交通ネットワークの確立(基幹交通軸の設定)等
- ○計画目標年次:2035年度



「河内長野市地域公共交通計画(第2期網形成計画)」平成30年度~令和4年度

- ○目指すべき将来像
- ・将来も安心して生活でき、住み続けられるまちを支える公共交通
- ○地域特性
- ・昭和40年代以降の宅地造成によりベッドタウンとして成長
- ・団地の大半が山間部で坂が非常に多い。
- ・ 府内で3番目に面積が広く、開発団地は鉄道駅から離れている。
- ・市内を南北に貫く鉄道駅の内、4つの駅を中心に各開発団地へバス路線網が形成されている。
- ・自動車を中心にまちが発展し、都市機能が拡散。
- ○人口動態
- ・平成12年(約12万人)をピークに減少が続き、現在は10.2万人まで減少。
- ・超高齢化 65~74 歳 15,360 人< 75 歳以上 21,131 人(令和 3 年 12 月末時点)
- ・高齢化率 65 歳以上35.8%、75 歳以上の高齢者率20.7%

○課題

- ・人口減少や高齢化が進展する中でのまちの活力維持につながる公共交通ネットワークの構築
- ・高齢化の進展に対応した公共交通の実現
- ・協働の取り組みに向けた市民意識の醸成

○基本方針

- ・まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築
- ・高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現
- ・市・地域住民・交通事業者等の協働による取り組みの推進

河内長野市地域公共交通計画 ※221 河内は野市自体交通の内 ※221 河内は野市自体交通の内 である。「日本では、日本町内1511年16日日本12日にて フロイン(1817、日本町内1511年18日日日本12日にて フロイン(1817、日本町内1511年18日日日本12日にて 日本コンドラン)



2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

【網形成計画】

- ○評価の基本的考え方
- ・公共交通や暮らしやすさの市民満足度の向上
- ・公共交通利用率・利用者数の維持
- ・行政負担の軽減
- ・市民意識の醸成
- ○評価指標
- ・市民満足度向上「バス等の公共交通サービス」「高齢者の暮らしやすさ」
- ・鉄道・バス等の公共交通利用分担率の増加
- ・路線バス、コミュニティバス、地域乗合タクシーの各利用者数の維持
- ・コミュニティバス利用者1人あたりの行政負担額の軽減
- ・モビリティマネジメントの実施回数 等

【地域内フィーダー系統確保維持計画】

- ○目標
- ・住民・交通事業者・行政等、関係者による協働の取り組みを進め、輸送人員の「従来の水準(R2.2)までの回復」を目指す。

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

【地域内の公共交通の課題】

- ・人口減少や高齢化が進展する中でまちの活力維持に繋がる公共交通ネットワーク の構築
- ・高齢化の進展に対応した公共交通の実現
- ・協働の取り組みに向けた市民意識の醸成

【取組の主な内容】

- ・バス1日フリー乗車券の積極的なPRやSNSの活用等、観光と連携し外からの来 訪者の招致活動
- ・高齢者の外出支援や公共交通の利用促進を目的とした「おでかけチケット」の配布
- ・運転免許証返納者の公共交通への円滑な転換をサポートするため、バス・タクシー利用助成券を交付
- ・コロナ禍の需要喚起のため、地方創生臨時交付金を活用したバス1日乗り放題周 遊チケット及びタクシー初乗り運賃チケットを販売
- ・コロナウイルスワクチン接種の際の高齢者の移動手段の確保及び公共交通の利用 促進を目的とした「高齢者バス・タクシー共通乗車券」の配布

【協議会の開催状況】

• R3. 1. 15~R3. 1. 27 (書面開催)、R3. 3. 19~R3. 3. 31 (書面開催)、R3. 6. 30、

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

	地域公共交通確保維持改善事業											
事業	実施主体	着手•実施期間	種別	事業概要								
地域内フィーダ	南海バス	R2. 10. 1∼	フ	市内の生活路線7系統について補								
一系統		R3. 9. 30		助を活用し維持を図っている。								

【種別】幹:地域間幹線系統、フ:地域内フィーダー系統、策:計画策定事業、推:計画推進事業 再策:再編計画策定事業、再推:再編計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手•実施期間	事業概要
モックルコミュニ	市	H14. 7∼	既存バス路線網とのネットワーク
ティバスの運行及	南海バス		化を図りつつ、バス全体の利便性
び上限200円運	地域公共交		向上のため運行。また、利用促進
賃の試行等の実施	通会議		として上限運賃制や同伴者割引等
			の試行を実施。

日野・滝畑コミュ	市	H7. 9∼	生活路線の維持のため運行。近年
ニティバスの運行	南海バス		は沿線施設等と連携し、観光利用
			のPRに力を入れ維持に努めてい
			る。
岩湧線への運行補	南海バス	H7. 4∼	生活路線を維持するため、運行経
助			費の一部を市からバス事業者へ補
			助。
楠ヶ丘地域乗合タ	市	H23.11∼	バスのない楠ヶ丘地域にて、公共
クシーの運行	第一交通		交通不便地域問題の解消のため、
	楠ヶ丘自治		乗合タクシーを3者協働(左記)
	会		で運行。
バス1日乗り放題	市	R2. 9~R3. 1	新型コロナウイルス感染症により
周遊チケット及び	南海バス		減少した利用者の利用喚起として
タクシー初乗り運			チケットを発行。
賃チケットの販売			
高齢者新型コロナ	市	R3. 4∼	新型コロナウイルスワクチン接種
ウイルスワクチン			の際の高齢者の移動支援及び公共
接種交通支援			交通の利用促進のために、65歳以
			上の市民に対しバス・タクシーで
			利用できる乗車券を配布。

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

- ※「(2)目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。
- ※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
高齢者公共交通	75 歳以上の高齢者を対象にバ	◆公共交通の利用促進
利用促進事業	ス・タクシーで利用できる助成	◆高齢者外出支援
	券「おでかけチケット」を配布。	
近隣市との連携	幹線系統で繋がっている隣接市	◆輸送人員 1%増等による収支
によるホームペ	と連携し、市ホームページにて	1%以上の改善(光明池行き)
ージの充実	沿線上の商業・観光施設を紹介。	\Rightarrow R2:53.9% \rightarrow R3:50.0%
バス1日フリー	バスマップと一体型のバス 1 日	◆バスの利用促進
乗車券の PR や	フリー乗車券PRパンフを、市	◆外からの来訪者の増加
SNS の活用等に	内観光施設をはじめ商業店舗等	⇒日野滝畑コミバス輸送人員

トラ知りが可の	シェボスカローナタナイト ナルナイントイント	七子左连 A O OO/ (PO O)			
よる観光利用の	に配架。市外在住者に向けては	対前年度△2.8%(R3.9)			
促進	市公式 SNS を活用し、公共交通				
	関連情報を発信。				
市民によるコミ	公共交通への関心や愛着を育む	◆協働や当事者意識の醸成			
ュニティバスの	ことを目的に、市内在住の小学	◆モックルコミュニティバスの			
車内アナウンス	生(公募)による乗車マナーア	維持			
の実施	ナウンスをモックルコミュニテ	⇒モックルコミュニティバス輸			
	ィバス車内で放送。	送人員			
		対 R2 年度+6.0%(R3.9)			
福祉部局などと	福祉部局などで開催するスマー	◆高齢者が利用しやすい公共交			
の連携によるス	トフォンの使い方教室で、電	通環境の整備			
マホ教室の開催	車・バスの乗り換え検索やバス				
	ロケアプリの紹介を実施。				
モックルコミュ	利用しやすい運賃施策として、	◆利用者利便の向上による利用			
ニティバス及び	モックルコミュニティバスの上	者数の増加			
路線バス千代田	限 200 円運賃の試行を継続。ま				
線上限 200 円運	た、一部ルートが輻輳する路線				
賃の試行継続	バスにおいても運賃格差を是正				
	するため、同じく上限運賃の試				
	行を実施。				

4. 具体的取組に対する評価

【補助路線に関する評価】

・新型コロナウイルス感染症の影響により、補助対象の7系統の内6系統において 大幅に前年度を下回った令和2年度をさらに下回っている。その中でも天野山線3 はテーマパークへの利用が多いことから、その影響を1番大きく受け、対令和元年 度比53.6%、その他の系統については、対令和元年度比約25%前後の減少となり、 目標である「従来の水準までの回復」は達成できなかった。

				実績			
対象路線	目標 (輸送人員)	輸送人員				1	
		R1年度 H.30.10~R2.9	R2年度 R1.10~R2.9	R3年度 R2.10~R3.9	対R1年度比	対R2年度比	達成状況
日野・滝畑コミュニティバス 日野・滝畑コミュニティバス2 (奥河内くろまろの郷経由系統)	_従来の水準までの輸 送人員の回復	85,157	66,818	64,915	△ 23.8%	△ 2.8%	外的要因(新型コロナウイルス感染症) の影響により評価が 困難
路線パス小深線2(石見川系統)	従来の水準までの輸 送人員の回復	42,095	33,250	33,734	△ 19.9%	+ 1.5%	外的要因(新型コロナウイルス感染症) の影響により評価が 困難
路線バス高向線1(高向起終点系統)	従来の水準までの輸 送人員の回復	75,698	59,933	53,811	△ 28.9%	Δ 10.2%	外的要因(新型コロナウイルス感染症) の影響により評価が 困難
路線バス天野山線5(旭ヶ丘系統)	従来の水準までの輸 送人員の回復	172,274	136,956	123,950	△ 28.1%	△ 9.5%	外的要因(新型コロナウイルス感染症) の影響により評価が 困難
路線パス天野山線4(天野山起終点系統)	従来の水準までの輸 送人員の回復	16,513	13,568	12,528	△ 24.1%	△ 7.7%	外的要因(新型コロ ナウイルス感染症) の影響により評価が 困難
路線バス天野山線3(サイクルセンター系統)	従来の水準までの輸 送人員の回復	15,272	8,380	7,093	△ 53.6%	△ 15.4%	外的要因(新型コロナウイルス感染症) の影響により評価が 困難

【幹線系統との関係】

・フィーダー補助対象の7系統については、接続する幹線系統の輸送実績に寄与するよう系統毎の輸送人員の維持を図り、路線のネットワークを確保することで、利便性を向上させ、相乗効果でバス路線全体の活性化に繋げるよう努めた。

【具体の取り組みに関する評価】

- ・高齢者の外出促進や健康増進等を目的とした高齢者公共交通利用促進事業を引き続き実施するとともに、令和2年4月から高齢化により運転に不安を感じた際に公共交通へ円滑な利用転換を後押しする高齢者運転免許証自主返納支援事業を実施し、高齢化の進展に対応した公共交通サービスを提供した。
- ・近隣市との連携によるホームページの充実やフリー乗車券の PR、SNS の活用等は、 観光利用を促進するものであり、人口減少に伴う利用者減少に苦しむ公共交通の新 たな需要喚起につながるものと考えている。
- ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた小学生による乗車マナーアナウンスの車内放送の収録といった人が集まるイベントの開催を見送っている。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種の際の高齢者の移動手段の確保等を目的に市内 在住の65歳以上の高齢者にワクチン接種券とともにバス・タクシー共通乗車券を 配布し、ワクチン接種を円滑に進めると同時に、公共交通の利用促進に努めた。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に利用者が減少し、目標を達成できていない。まずは事業継続できる体制を確保するとともに、収束後の利用喚起を実施する必要がある。

また、人口減少に歯止めがきかず、長期 スパンでは輸送人員の減少傾向が続いて いることや地勢的な特性として、坂道や鉄 道駅から距離があるケースが多く、高齢化 率が高いため、今まで以上にきめ細やかな 移動手段の確保が求められている。

課題への対応方針

新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者が減少した交通事業者において、収束後の利用喚起を図るとともに、既存の交通サービスを確保することを目的として、バス1日周遊チケット及びタクシー初乗り運賃チケットを発行。

また、コロナウイルスワクチン接種の際の高齢者の移動手段確保と、公共交通の利用促進を目的として、65歳以上の市民にバス・タクシー共通乗車券を配布。

さらに、おでかけチケットの配布や運 転免許証自主返納支援券など、高齢者の 外出を促すとともに、公共交通の利用促 進を図っている。

河内長野市地域公共交通会議(これまでの経緯)

1. 昨年まで(直近)の二次評価の活用・対応状況

昨年まで(直近)の二次 評価における事業評価結果

適切に事業を実施し、目 標・効果が達成されたこと は評価できる。

沿線施設、隣接市、観光 部局及び福祉部局等とも連 携し、様々な角度からの情 報発信や利用促進に取り組 果検証にも取り組まれた ٧١_°

事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)

実施しているそれぞれの

事業において、目標指標を 立てて効果検証を行ってき たが、令和2年度において は、新型コロナウイルス感 染症の影響により、利用者 が大幅に減少しており、一 まれており、今後はその効用部の指標で効果としては現 れていない。

今後の対応方針

新型コロナウイルス感 染症の影響により、令和2 年3月以降の利用者は前 年同月比で大幅に減少し ているため、感染症収束後 の利用喚起を図る施策を 展開する。

今後も感染症収束後を 見据えながら、公共交通の 利用促進策や高齢者への 対応策の検討を進める。

2. アピールポイント、特に工夫した点など

【新型コロナウイルス感染症への対応】

新型コロナウイルス感染症が拡大したことにより発出された緊急事態宣言により公共交通機関の利用者が激減したことで、交通事業者の経営状況が非常に厳しい状態に陥った。その後も政府が示す新しい生活様式(テレワーク、通販、自動車などの活用促進)の実践などにより、バス利用需要の回復については見通しが立っていない。

このような状況を勘案し、高齢者の新型コロナウイルスワクチンの接種にあたり、医療機関までの公共交通による移動手段を確保することにより、円滑なワクチン接種を推進するとともに、周辺道路及び駐車場の渋滞緩和並びに公共交通利用の需要喚起を図ることを目的とし、高齢者バス・タクシー共通乗車券を交付した。

○事業概要

・65 歳以上の市民 (38,000 人) に対しワクチン接種券に併せて、市内のバス・タクシー運賃の助成が受けられる乗車券 4 回分を郵送にて配布。バス利用の場合は、1 回分の乗車運賃を助成。タクシー利用の場合は、初乗り運賃 680 円分を助成。

負担金 バス 38,000 人×30% (利用率) ×224 円 (平均単価) ×4 回=10,215 千円 タクシー 38,000 人×40% (利用率) ×680 円 (平均単価) ×4 回=41,344 千円 事務費を含む予算総額 53,159 千円

○アピールポイント

65 歳以上の高齢者はワクチン接種が急がれる一方、運転免許証の自主返納等により移動手段の確保が難しい人が多いため、交通費の助成により、接種しやすい環境を確保するとともに、公共交通の利用を促進することで、厳しい状況の交通事業者への支援を図った。

○参考資料

別添 高齢者バス・タクシー共通乗車券パンフレット

河内長野市内で利用できる

高齢者バス・ション一共通乗車券を送付します。

本乗車券は、高齢者の新型コロナワクチン接種を円滑に 進めるため、65歳以上の方の接種会場までの移動手段の 確保を目的にお配りしています。ワクチン接種時の市内の 移動など*に利用してください。

※高齢者の移動支援を目的としているため、本乗車券は日常の 買物や通院等にもご利用いただけます。



- ■乗車券送付対象者 令和3年度中に65歳に達する市民(昭和32年4月1日以前生まれ)
- ■送付物 高齢者バス・タクシー共通乗車券4枚(ワクチン接種2往復分)
- ■有効期間 令和3年4月1日~令和4年3月31日
- ■利用可能なバス・タクシー

バス (河内長野市内に限る)…南海バス、モックルコミュニティバス、日野・滝畑コミュニティバス タクシー (乗降地のどちらかが河内長野市内であること)…大阪第一交通 ☎0570-06-0152 近鉄タクシー ☎0570-06-9001

■乗車券の使い方(1回の乗車につき、本乗車券を1枚利用できます。)

バスで利用

- ⇒ 降車時に乗務員に提示の上、乗車券1枚を運賃箱へ入れて下さい。 本券1枚で河内長野市内の乗り降りが1回無料になります。
- ※1日乗り放題ではありません。

タクシーで利用 ⇒ 降車時に乗車券1枚を乗務員へお渡しください。初乗り運賃680円の支払い に利用できます。初乗り運賃を超えた差額はご自身でご負担ください。

- ご利用時の注息点 (バス・タクシー共通)
- ■ご利用時の注意点・本乗車券を他人に譲渡することはできません。
 - ・河内長野市発行の他のチケット類とは併用できません。
 - ・コピーされたものは無効です。
 - ・盗難、紛失等による再発行はできません。
 - ・釣り銭は出ません。

問い合わせ先 河内長野市役所内 新型コロナワクチンコールセンター

TEL: 0721-26-8135 (受付時間: 平日午前9時~午後5時30分)

高齢者バス・タクシー共通乗車券



市内のバスまたはタクシーをご利用の際に「高齢者バス・タクシー共通乗車券」を 1枚ずつミシン目に沿って切り取り、ご利用 ください。

河内長野市 No.1 高齢者バス・タクシー共通乗車券

バス 河内長野市内のバスが1回無料。 タクシー 初乗り運賃680円の支払いに利 用可。差額はご自身でご負担く ださい。

有効期限 令和4年3月31日

河内長野市 No.3 高齢者バス・タクシー共通乗車券

バス 河内長野市内のバスが1回無料。 タクシー 初乗り運賃680円の支払いに利 用可。差額はご自身でご負担く ださい。

14 有効期限 令和4年3月31日

河内長野市 No.2 高齢者バス・タクシー共通乗車券

バス 河内長野市内のバスが1回無料。 タクシー 初乗り運賃680円の支払いに利 用可。差額はご自身でご負担く ださい。

有効期限 令和4年3月31日

河内長野市 No.4 高齢者バス・タクシー共通乗車券

バス 河内長野市内のバスが1回無料。 タクシー 初乗り運賃680円の支払いに利 用可。差額はご自身でご負担く ださい。

有効期限 令和4年3月31日

高齢者公共交通利用促進事業(おでかけチケット)の見直しについて

(網形成計画 基本方針20-5-7)

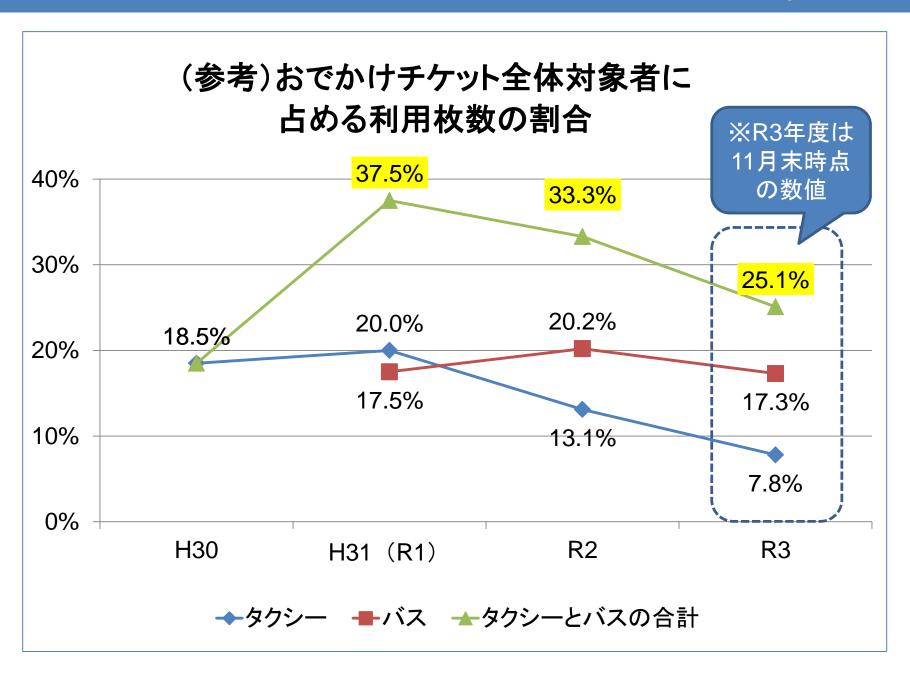
- 1. これまでの取り組み
- 2. バスでの使い方(現在)
- 3. バスでの使い方を見直す経緯
- 4. 令和4年度おでかけチケットの見直し案

1. これまでの取り組み

公共交通の利用促進・高齢者の外出機会の創出・健康増進等を目的として、75歳以上の市民を対象に、「おでかけチケット」1,000円分(100円割引券×10枚)を送付する事業をH30年度より実施(高齢者公共交通利用促進事業)。

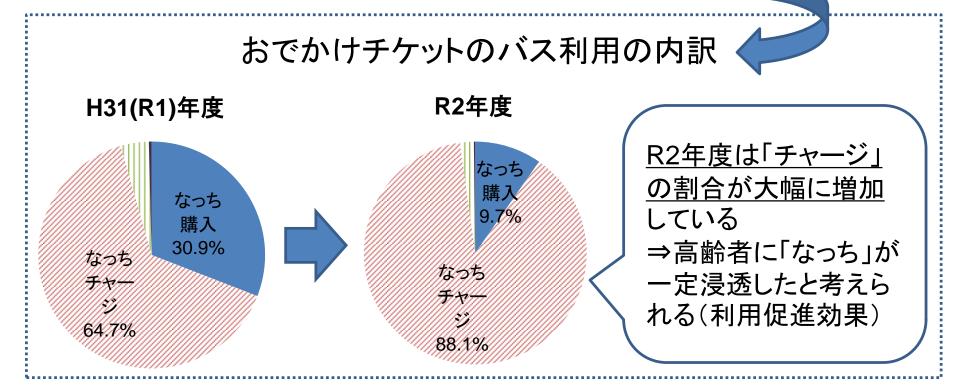
これまでの経過

H30年度	3年間の社会実験としてスタート。 利用対象:タクシー、楠ケ丘地域乗合タクシーくすまる
H31年度	利用対象を路線バスに拡大。 あわせて、おでかけチケットで「なっち」の購入等ができる「臨時窓 ロ」を、南海バスの協力のもと、市内商業施設等で開催。
R2年度	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が発令。 「臨時窓口」は感染症対策の観点から中止した。
R3年度	3年間の利用実績やアンケート結果を踏まえ、本格事業へ移行。
R4年度	バスでの使い方を見直し予定(バス車内での直接利用可能に)。



2. バスでの使い方(現在)

取扱窓口において、南海バス専用ICカード「なっち」の新規購入・チャージやモックルカード・ワイドモックルカードの購入に「おでかけチケット」を利用可能 【参考】H31年4~11月の「なっち」の新規販売額は前年同時期の約2倍 チャージも前年同時期の約1.2倍 更に・・・



3. バスでの使い方を見直す経緯

「なっち」の購入・チャージ等には取扱窓口での手続きが必要

⇒R2年度以降はコロナの影響で臨時窓口が開催できず、常設の窓口だけに。社会実験中に実施したアンケート等では、おでかけチケットのバス車内での直接利用を望む声が。

※参考

【常設の窓口】

- ①河内長野駅バス定期券発売所 ②南海バス河内長野営業所
- ③アンスリー河内長野店(モックルカード・ワイドモックルカードのみ)

【臨時窓口】

常設の窓口が限られることから、4月と10月に開催(H31年度)

▶開催場所:市役所、フォレスト三日市、コノミヤ南花台店 等



- R3年度まで: 高齢者の「なっち」の普及促進
- R4年度:R3年度実施の「高齢者バス・タクシー共通乗車券」のスキーム を活用し、おでかけチケットがバス車内で直接利用できるよう事業内容 を見直す

4. 令和4年度おでかけチケットの見直し案

75歳以上の市民1人につき、

タクシー・くすまる券1,000円分 + バス1回無料券5枚 送付

タクシー・くすまるでの利用 方法はR3年度までと同じ

※1回の乗車につき1人2枚まで (くすまるは1回につき1枚まで) バスはなっちの購入・チャージ等 に代わり、<u>市内のバスが1回</u> 無料になる券を5枚送付

※<u>降車時に乗務員提示の上、運賃箱へ直接投函</u>

おでかけチケット タクシー・くすまる 100円 割引券

×10枚

おでかけチケット 市内バス1回 無料券

×5枚

(参考)

コロナ禍で公共交通利用が激減⇒市では令和2年度 以降、国からの地方創生臨時交付金を活用した事業 を展開

- ■利用促進施策
 - 「バス1日乗り放題周遊チケット」・「タクシー初乗り運賃チケット」の販売 (R2年度)
 - 「高齢者バス・タクシー共通乗車券」の送付(R3年度)
- ■事業者への直接支援
 - 交通事業者支援給付金の支給(R3年度)

「おでかけチケット」についても、タクシーとバスでチケットを分けて枚数を増やすことで、一層の公共交通利用を促していく。